年間授業計画　様式例

# 高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　外国語　科目 フランス語

教　科： 外国語　　科　目： フランス語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 大熊 陽子 ）

使用教科書：（ 白水社 Eurêka ！ ）

教科　外国語　の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】日常的、社会的な話題について、外国語で情報や考え方の外概要や要点、意図などを理解し活用して表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手、聞き手、書き手に配慮しながら主体的、自律的にコミュニケーションを図る。

科目　フランス語　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 外国語の４技能について、偏りなく活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。 | 場所・目的・状況などに応じて、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりする。 | 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 聞 | 読 | 話[やり] | 話[発表] | 書 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | chapitre 0a-0b<br>【知識及び技能】<br>フランス語の文字・発音の規則を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>どのようなときにどの表現を使うか、相手との距離に応じた表現が使えるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>フランス語と母語との相違を意識し、言語への関心を高める。 | ・アルファベ、発音の規則<br>・あいさつ、人称代名詞<br>・相手との距離に応じた表現<br>・数<br>・フランス語圏について | ○ | ○ | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>フランス語の発音の規則に慣れ、フランス語が発音できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>tuとvousの使い分けができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>フランス語と日本語や英語とを比較して、言語の特性を理解していく。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | chapitre1<br>【知識及び技能】<br>êtreの活用を理解し運用できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>男性形・女性形、単数形・複数形など、適切に運用できるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手との距離に応じて、相手に配慮した表現を使おうとする。 | ・être<br>・国籍・職業の表現<br>・肯定文・否定文<br>・形容詞<br>・男性形・女性形、単数形・複数形 | ○ | ○ | | ○ | ○ | 【知識及び技能】<br>êtreを活用して、文を作り、発音できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>性数が適切な表現を運用できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手に配慮した表現で、自己紹介し、相手のことを尋ねることができる。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 試験と振り返り | | | | ○ | ○ | ○ | 点数 | ○ | ○ | | 4 |
| 2学期 | chapitre 2 / 3<br>【知識及び技能】<br>動詞の活用を理解し、適切に運用できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>性数に合わせた適切な表現ができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手との距離や個人的なことがらに応じて、相手に配慮した表現を使おうとする。 | ・第一群規則活用動詞<br>・前置詞　・疑問文<br>・avoir　・不定冠詞　・否定のde<br>・定冠詞<br>・所有形容詞 | ○ | ○ | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>適切に動詞の活用ができる。<br>【思考力、判断力、人間性等】<br>適切に冠詞をつけられる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手に配慮した表現で身近な事柄について語り、尋ねることができる。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | chapitre 4<br>【知識及び技能】<br>単数・複数の使い分け、quiとqueの使い分けを理解し、適切に運用できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文脈に合わせた性数一致ができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手との距離に応じて、相手に配慮した表現を使おうとする。 | ・C'est / Ce sont<br>・qui / que<br>・名詞と形容詞の語順<br>・指示形容詞 | ○ | ○ | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>単複の使い分けができる。適切な語彙で作文できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>性数の一致ができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手に配慮した表現でより広範な事柄について語り、尋ねることができる。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 試験と振り返り | | | | ○ | ○ | ○ | 点数 | ○ | ○ | | 4 |
| | chapitre 5 / 6<br>【知識及び技能】<br>冠詞の使い分けを理解し、使い分けができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>適切な冠詞を文脈に応じて使い分けられる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手との距離に応じて、相手に配慮した表現を使おうとする。 | ・部分冠詞<br>・quel<br>・il y a<br>・前置詞<br>・冠詞の縮約<br>・命令法 | ○ | ○ | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>冠詞の使い分けができる。適切な語彙で作文できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文脈に応じた冠詞の使い分けができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手に配慮した表現でより広範な事柄について語り、尋ねることができる。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 3学期 | chapitre 7<br>【知識及び技能】<br>allerとvenirの意味と活用を理解し、適切に運用できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>適切な疑問詞を使って、相手に様々なことを尋ねられるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手との距離に応じて、相手に配慮した表現を使おうとする。 | ・疑問詞<br>・aller, venir | ○ | ○ | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>単複の使い分けができる。適切な語彙で作文できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>性数の一致ができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>相手に配慮した表現でより広範な事柄について語り、尋ねることができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 試験と振り返り | | | | ○ | ○ | ○ | 点数 | ○ | ○ | | 4<br>合計<br>70 |